

横浜 YMCA2021 年度活動方針・計画

基本聖句

愛をもって心から尊敬しなさい。互いに平和に過ごさないさい。

(テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章13節)

年度活動方針

- (1) すべての世代の方々が身体的、精神的、社会的な健康を、現在と将来にわたって維持・増進する生活を提案し、機会を提供します。
 - ①乳児から高齢者の各年齢やニーズにあった魅力あるプログラムを提供します。
 - ②幼少期から青年期にかけての身体づくりと高齢者の健康づくりに取り組みます。
 - ③子育て、介護など、家族と家族を支える人に寄り添う取り組みを実施します。

- (2) 違いを認め共に生きる社会の実現のために、世代間交流、グローバルな交流機会や多文化共生の体験機会を提供します。
 - ①国際理解、地球市民教育を意図した語学教育を実施します。
 - ②ICTを活用して、国際交流プログラムによるグローバル人材の育成と、各活動に留学生や外国人住民を受け入れる取り組みを行います。
 - ③活動の参加者、ボランティア、働く仲間などに多様な人材を積極的に受け入れていきます。

- (3) 将来の担い手を育み社会へ輩出するために、若者へ学びの機会と就労支援の機会を提供し、社会参画を支援します。
 - ①主に若い世代への就労支援とキャリア教育として、社会的に必要とされる特定分野における専門職教育を行います。
 - ②特別に支援が必要な青少年（発達障がい、生活困窮世帯、外国につながる等）に向けた教育支援を行います。
 - ③活動に参加する青少年が、経済的な事情により参加を断念することのないように支援します。

- (4) 子どもから高齢者まで安心安全な環境と、豊かな生活の時間を提供し、福祉社会の望ましい姿を社会に提案していきます。
 - ①未来を担う子どもたちのためのチャイルドケアを実施します。
 - ②高齢者が自分らしくいることができ、生きがいを見つけられる活動を実施し、施設を運営します。
 - ③誰もが受け入れられる安心安全な場所として、会館・施設の衛生管理と環境整備を「新しい生活様式」に対応して行います。

(5) 社会の課題に事業を通してより一層取り組むために、地域及び社会の、諸団体及び専門性のある人材と積極的に協働を進めていきます。

①会員組織としてボランティアと職員の協働推進のための維持会員、賛助会の増強に取り組みます。

②ワイズメンズクラブやキリスト教関連並びに地域の諸団体、企業などと協働・連携した青少年活動、地域支援活動、災害支援や、復興支援活動を創出します。

③更なる社会貢献のために、教育機関や専門家との協働を推進します。

(6) 横浜 YMCA150 周年 (2034 年) を見据えた将来計画に基づき、社会に働き、市民と協働していきます。

①各運営委員会・事業委員会において、第 1 期 3 か年計画 (2021 年度-2023 年度) を実行します。

②社会情勢を研究し来るべき未来における各事業の将来計画を作成します。

③YMCA として持続可能な活動を維持展開できるように、運動・運営を点検し、将来のために必要な改善に取り組みます。